

連合山口会長と若手リーダーとの対話集会

2018.2.24 アパホテル防府

テーマ1 若年層の労働組合への参加促進について

問題・課題	意見・要望
労働組合のイメージは?	<p>●プラスイメージ</p> <p>若手にも積極的に交流を図っており、親しみやすいイメージ 組合員とその家族を生活を守る 会社の労働環境(賃上げ、労働時間)の改善をする 会社の経営陣と労働条件や賃金の向上に向けて交渉をしている 団結や共助 仕事の悩み解決 暮らしの底上げをしようとしている</p> <p>●マイナスイメージ</p> <p>イメージがわからない 動員等が多いので面倒 休日等の仕事外に自分の時間を割いて活動している 組合が何をしているか不明 組合費を取られる(ex.4,500円)</p>
労働組合の存在意義とは?	<p>●感じている</p> <p>活動方針に対し、ある程度の結果は残されているので存在意義は感じている 休暇取得や時間外勤務等の際には存在意義を感じている 労働条件の向上と雇用を守る 働く環境を良くする</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>当たり前になっている!! それにより存在意義を感じる事が少なくなっている</p> <p>●感じていない</p> <p>重要なことは分かるが・・・ 周りが参加しているのでなんとなく</p>
参加意識を高めるには?	<p>労働組合の活動の意義について若手向けの勉強会(春闘についてなど) 労働組合の活動や存在・役割についての勉強会を定期的実施する 親しみやすく、意見や悩みの相談を言いやすい雰囲気、環境作り 参加の高まる楽しい行事(懇親会、スポーツ、飲み会などレク行事)の実施 執行委員や若者の組合員が中心に参加するように呼び掛ける ポスターの掲示(内容の分かりやすいもの) 他社との交流会を通じて労働条件の違いを知り、良いところを取り入れる活動 組合員から出た要望に対し活動の報告や進捗を適宜報告する(可視化) SNSの利用で個々の案を出してもらいその結果を知らせる</p>
結論	<p>労働組合についての知識不足</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>若者が分かりやすい勉強会を定期的実施する 身近な組合員同士、同業、異業種の組合との交流会 参加しやすい雰囲気、環境づくり</p>

テーマ2 まちの活性化について

ポイント	<p>どうして県外に出たくなるか？</p> <p>どうしたら外から人が来るか？</p>
問題・課題	現状・意見・要望
不便さ	<p>交通ICが使えない</p> <p>駅、パスにICカードが使用出来るようにしてほしい</p> <p>市役所が中心にない→銀行や郵便局、図書館などを一つに</p> <p>周辺のしとの違い→クオカード、商品券など°の販売がない</p>
集客施設・イベント観光施設について	<p>アウトレットモール、ラウンドワンの誘致</p> <p>立ち寄りたくなるお店(商店街)</p> <p>魅力的な観光道路</p> <p>防府天満宮の周辺が何もないので寂しい(太宰府天満宮と比べて)</p> <p>イベントなどを増やす(ライブなど県外からの人も参加できるイベント)</p>
いこい・リフレッシュの場がない	<p>大人も子供も楽しめる公園がない</p> <p>屋外スポーツ環境に乏しい</p> <p>夜間も安全にスポーツ(ウォーキング、スカッシュ)が出来るところが欲しい(維新公園のようなところ)</p>
長所をアピールする	<p>長い時間留まれる景色・空間</p> <p>地方、田舎らしい人の温かみのあるところをアピールする</p>
補助金・制度	<p>補助金制度で出店が進むように県外から集める</p> <p>独身者の家賃負担が大きいので駅近辺の家賃を市が補助する</p>